

日本臨床泌尿器科医学会報

日本臨床泌尿器科医会のURL

<http://www.uro-ikai.jp>

第 56 号

巻 頭 言

日本臨床泌尿器科医会 会長 宮崎 良春

ご無沙汰しています。皆さん如何お過ごしですか。

昨年10月1日に日本医師会に妻と一緒に参加し、日本医師会最高優功賞をいただきました。前日に帝国ホテルに1泊し、翌日10時に参上し、写真などを撮ってもらい11時より式典に望み、20人程度の最後に横倉会長より表彰状を受け取りました。光栄で身の引きしめる思いとはこのようなものであると思いました。ノーベル医学賞の村上先生の講演を拝聴し、パーティーに参加し、夕方までの1日を楽しみました。

この祝い言は翌年2月18日ホテルオークラにて福岡医師会主催で行われ、更に7月27日西鉄グランドホテルにて鹿児島大学主催にて3回の会合でお祝いを受けました。

しかし好事魔多しのことわざ通り、300人余の市医師会のパーティーのおみやげに「醫の百年物語—宮崎家のあゆみ—」という題名で、江戸末期から宮崎家時代の歴史を作成したのですが、最初の3人は寺小屋をやりながら漢方医をやっており、結局火事で消失したのですが、その後は脇山村に寄附され小学校になったとのこと。1月20日に脳梗塞を起こし、その後の有様は御承知の通りです。

2月18日のパーティーは3人の先輩からの祝辞の後に私の謝辞があったのですが、3分程度の話しは私の得意とするところであるにも関わらず、文章を読むという今でもそうですが、使用しない言葉は出てこないという状況です。本年5月中旬より週で2回程度言語聴覚士について発声の訓練をしている有様です。もうすぐ卒業であるとのこと。私の病気のことはこれ位にしておきます。

まず羽生田議員の参議院選挙です。どうにか当選されましたが医会で推薦状をだす件ですが7月に入ってその依頼状を受け取りました。時間の関係で事務局には連絡しませんでした。落選したらどうしようかと危惧しておりましたが、無事に当選されておめでとうございます。

5月1日に改元も行われました。「平成」より「令和」の移行です。天皇の死亡なきのに

代が変わりしたわけですが、皇后陛下の変化はわかる様な気がします。以前に皇后陛下の退位の件を保守系雑誌で見ましたが、人間はその地位が人を作るとはこの事でしょうか。

参議院選挙も無事終了し、大過なき結果でしたが10月には消費税10%になります。消費税は根本的な話し合いと日本医師会は言っておりましたが、初診、再診を上げることで処理されました。今回の改正はこれでもいいのですがこれから先の改定はどうするのか疑問です。横倉執行部の唯一の失敗例とされるでしょう。改定と共に色々の改革が続いています。私も来年4月で会長をやめるつもりですが、誰がなるにしろ泌尿器科医会の実力が問われることとなるでしょう。

巻頭言Ⅱ

日本臨床泌尿器科医会 副会長 清原 久和

先ず始めに、今年度の日本泌尿器科学会（日泌）総会で、日本臨床泌尿器科医会（日臨泌）のために会場を提供して戴いた日泌総会会長で千葉大学教授の市川智彦先生に厚くお礼申し上げます。ご提供戴いた会場で、日臨泌主催の全国社保国保審査委員懇談会と理事会、総会、日泌と共催の中川俊男日本医師会副会長の御講演を予定通り開催致しました。

さて日臨泌も創立20年を過ぎましたが全国組織であるためネットワークが十分でないまだ活動は十分とはいえ地域医会と比べて時間とお金はかかりますが、全国組織を生かした事業展開を進めることが可能であります。この点で保険診療の問題への取り組みは着実に成果を挙げております。前述の全国審査委員懇談会、総会、地方総会での保険講習の講師派遣、保険改定に向けての賀屋 仁委員長、斎藤忠則先生を中心とした保険委員会の活動は目を見張るものがあります。会員諸氏にはあまり重要性が理解されていないかもしれませんが、外保連（外科系保険連盟）に加入でき改定項目についてのヒアリングを厚労省で保険課の職員の方に直接して頂く事が出来るようになり、活動は確実に進んでおります。実に、日泌学会の保険委員会でも常任委員会、保険実行委員会委員の半数は日臨泌の役員で占められております。

他方、現在最も重要な課題は会員の高齢化であります。創設された当時に入会されたメンバーが亡くなったり閉院されたりして会を退会される会員が少しずつ増え、新しく開業された先生方が入会されても会員数の維持に追いつかない状況であります。事務局長の秋山先生はじめ事務局の御苦勞は絶えません。私は大阪府医師会の委員として近畿厚生局の新規個別指導を受けられる泌尿器科医の立会いを10年以上していますが、泌尿器科を主科とした新規開業は年間で5名に満たない状況です。そしてすべての先生が日臨泌の会員になられるわけではありません。従っての会員増のためには日臨泌創設当時のように勤務医の先生方に多数入会して頂く必要があります。そのため現在ある勤務医部会を充実して会員増を図ることが急務であると考えます。勤務医の先生方が入会する現実的なメリットを考えることも大切なポイントであります。やはり日常の一般泌尿器科診療の向上、普及のためにボランティアの心構えで参加して役割を果たして頂く心ある若い先生方の入会が求められると思います。決して名誉とか地位とか自己満足のためだけに活動する事ではないはずで、先達が創設時に御苦勞されて誕生させた「学会にはできない泌尿器科一般診療に取り組む団体としての価値」を

再認識しなければならないと思います。その意味でこれからの理事会ではワークショップで求められた①泌尿器科保険診療の向上②泌尿器科診療の質・経営基盤の支援、③泌尿器科医のライフプラン支援④組織基盤の強化⑤行政及び他領域組織との連携について、理事の先生方がより具体的で建設的な提案をそれぞれの役割に応じてして頂きたいと思います。

さて前々回、前回の理事会については「智に働けば角が立つ、情に棹させば流される」と言う一節が思い浮かびます。「智」は正常な会運営のためリスクを回避してより効率的に作業することで、「情」はお互いをいたわり合う仲良しクラブであること、と考えております。もう少し時間をかけて「智」も「情」も両立すれば良かったと反省しております。前回の臨時理事会では理事の先生方もそれぞれの思いで発言されたと思います。日臨泌の発展という一点でみんなが協力し建設的な意見が出てくることが望まれます。

会員の先生方のご意見をお待ちしています。

2020年度診療報酬改定に向けての保険委員会活動と今後 (厚生労働省ヒアリングを終えて)

日本臨床泌尿器科医会 保険委員長 賀屋 仁
南はとがや泌尿器科・内科クリニック顧問

2018年9月会報及び本年2月ホームページにおいて2020年度診療報酬改定に向けての保険委員会活動を報告しましたが、改めて2018年4月からの2019年8月までの活動について報告します。

日本臨床泌尿器科医会（日臨泌）保険委員会は2018年2月開催された役員ワークショップを受けて、キャッチコピー「泌尿器科保険医療のみえる化」を目指し2018年4月より活動を開始しました。日臨泌は同年4月に外科系学会社会保険連合会（外保連）に加入し、外保連を経由して診療報酬新規・改訂要望書を厚生労働省に提出、直接ヒアリングの機会を得ることが出来るようになりました。

2018年4月オフィスウロロジー部において『オフィスウロロジーの保険審査に関する問題点、要望事項』を会員にアンケート調査を行いました。60件の多くの貴重な要望項目を保険委員会において検討し、その結果を同年8月にホームページの「保険情報」に掲載しました。その要望項目の中で、再調査により改定に向け臨床上的エビデンスが得られた「前立腺針生検法の外来日帰り加算」を日臨泌としての2020年度要望項目候補としました。

日臨泌保険委員会は日本泌尿器科学会（JUA）保険委員会及び JUA 各関連学会保険委員会と連携しつつ、制度的に困難な項目、エビデンス不足な項目などを調整しながら日臨泌としての申請項目を選出しました。その結果、新設項目を「経皮的腎瘻拡張術」（JUA と共同提案）、改正項目を「前立腺針生検法の外来日帰り加算」とし、それぞれの概要を日臨泌として2018年11月30日外保連に提出しました。提出された要望書概要は2019年3月18日外保連総会にて承認され、その詳細を3月29日に外保連に提出しました。外保連は日臨泌を含む各加盟学会から提出された項目を取り纏めたのち、6月には厚生労働省に約500項目の要望書を提出しました。これらの要望書をもとに7月下旬から申請学会に対して厚生労働省のヒアリングが開始され、当学会は8月1日在京の保険委員5名が面談しました。厚生労働省保険局医療課との交渉は25分の短い時間ではありましたが、有意義で貴重な時間となりました。ヒアリング結果は、中央社会保険医療協議会医療技術評価分科会などを経て、来年度改訂項目の大枠は10月下旬に判明する予定です。

以上、申請経過を記載しましたが、今回の最終結果発表は2020年4月1日の診療報酬改定になります。2020年度はこの改定結果を踏まえ、①泌尿器科保険教育、②全国

泌尿器科審査委員懇談会開催、③保険診療の手引きの作成、④2022年度以降の診療報酬改定に向けての作業などの保険委員会活動を行います。今後、会員の先生方に保険診療についてのアンケートを行い、エビデンスのある医療技術を診療報酬として獲得していきたいと思っておりますので宜しくお願いします。

日本臨床泌尿器科医会 第15回臨床検討会開催にあたり

日本臨床泌尿器科医会第15回臨床検討会 会長 高橋 真一
担当理事 酒本 貞昭

この度、第15回臨床検討会を大分市で開催させていただくことになりました。ご配慮いただきました会長の宮崎良春先生をはじめ役員の先生方に心より感謝申し上げます。

近年、超高齢化社会における在宅医療、介護連携の推進が重要視されており、診療科に関係なく各科が協力し合い地域医療や地域包括ケアにかかわっていく必要性が求められています。いま泌尿器科医はそれらに対してどう関わり何をなすべきか考える必要があるものと思われます。今回はあえてテーマをもうけず、先生方の在宅診療を含む日常診療のなかでの小さな工夫や診療のコツ、患者さんとのかかわりなど多岐にわたり討論していただければと考えております。現在までの臨床検討会は日本臨床泌尿器科医会の理事により行われましたが、今回は大分県臨床泌尿器科医会会長の高橋真一先生の会長により行われます。宜しく願いいたします。

臨床検討会は既報の様に大分市にあるホテル日航大分オアシスタワーで11月23日に行います。午前中は理事会。午後より臨床検討会。教育セミナー。引き続き会員の懇親会と予定を組んでおります。懇親会に於きましては大分県名産物の食材による料理また大分の地酒、焼酎などを堪能して頂くかと計画しております。お楽しみください。

この度の演題募集にて全国から11題の演題が寄せられました。いずれも臨床診療に拘わる演題です。有意義な活発な討論が行われるものと思います。また教育セミナーとして原三信病院泌尿器科部長の武井実根雄先生にご講演をお願いしております。

大分県は「おんせん県」の別名もあり、温泉の源泉数・湧出量ともに日本一を誇り、海や山の幸に恵まれた過ごしやすい地域です。またフグの季節も始まっています。フグ料理は山口県下関市が全国的には取り上げられておりますが、大分県のフグ料理は下関市のフグ料理とは一線を画す味だと全国的に好評を得ております。大分市南部の臼杵市のフグ料理屋をすでに確保しております。臨床検討会翌日にはこのフグを堪能していただきたく小旅行も計画しております。遠方ではございますが多くの会員の皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

最後になりましたが、当地でのラグビーワールドカップ開催や他学会との関係で会期を11月23日（土）とせざるを得ませんでした。同時期に京都で行われます泌尿器科内視鏡学会の最終日と重なってしまい、多くの皆様に多大なご迷惑をおかけすることとなりましたことを深くお詫び申し上げます。

事務局長より

事務局長 秋山 喜久夫

今年の夏は、酷暑といえますか猛暑でしたが、会員の皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、5月に元号が平成から令和に変わりました。7月に九州地方の大雨、台風による浸水や停電等の被害、アニメ制作会社「京都アニメーション」で放火事件（33人死亡、35人負傷）、高齢者の自動車事故等、今話題になっている煽り運転等々ニュースに事欠かない日常となっております。被災、被害に遭われたました方々に心よりお見舞い申し上げます。

- ① 日本臨床泌尿器科医会第22回総会・合同講演会・全国審査委員懇談会を第107回日本泌尿器科学会総会時（平成31年4月23日・名古屋）にて行いました。尚、本学会を主催されました市川智彦教授のご協力によりまして盛会裡に終えることができました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。
- ② 次回来春に開催予定の日本臨床泌尿器科医会第23回総会・合同講演会・全国審査委員懇談会を第108回日本泌尿器科学会総会時に行うべく、先日8月29日に神戸大学大学院医学研究科腎泌尿器科学分野 藤澤正人教授を表敬訪問に伺いました。藤澤教授より快くお引き受けいただきました。
- ③ 日本臨床泌尿器科医会 研修医・医学生サポートの会が三樹会病院 佐藤嘉一先生の本年11月16日（土）に札幌で行われます。企画運営にあたっては、札幌医大泌尿器科 医局長 西田幸代先生、北海道医師会の小林淳子様、昨年度担当された高尾徹也先生、日臨泌の岩澤専務理事はじめ北海道の理事の先生方にも多大なご支援をいただきました。事務局からもこの場をお借りしてお礼申し上げます。盛会裡に終わられますよう祈念申し上げます。
- ④ 第21回日本臨床分科医会代表者会議が本年9月5日に東京で行われました。毎回ご出席いただいております当日臨泌会長宮崎良春先生の他、次年度から当番事務局をお引き受けするにあたり岩澤専務理事、正井常務理事、秋山事務局長、事務局として富永光世氏、大森啓次氏が下見準備のため参加いたしました。日本医師会常任理事の羽島先生、各医会の会長等総勢37名のご出席で各科医会の先生方と意見を交わすことができ、大変有意義な会でした。来年度からは今まで2年

間担当していただきました日本臨床皮膚科医会より引き継ぎ、我々日本臨床泌尿器科医会が年2回の会の運営を今後2年間担当することになっており責任をもって事務局を務めさせていただきます。日本医師会、他科の臨床医会との情報交換ができるよう頑張っておりますが、本会員の先生方へも有意義な情報を発信できればと考えております。

- ⑤ 第15回臨床検討会は大分臨床泌尿器科医会会長の高橋真一先生が中心になり、日航ホテル大分オワシスター（大分市）、11月23日（土）にて行うべく準備をしていただいております。また、翌日（24日）には簡単ではございますが、小旅行の予定もございます。同封のプログラム集、パンフレットをご参照の上、会員の皆様のご参加をお待ちしております。

また、今後も会員の先生方にお役に立つ情報がありましたら、ホームページ等でお知らせできればと思っております。引き続きご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

日本臨床泌尿器科医会 平成30年度事業報告

- * 会報発行
 - 2月 会報第53号発行
 - 9月 会報第54号発行
- * 総 会
 - 4月22日 第21回日本臨床泌尿器科医会総会（京都）
日本臨床泌尿器科医会総会特別講演会（京都）
 - 9月27日 第107回日本泌尿器科学会総会 教授表敬訪問（千葉）
- * 会長講演
 - 2月 8日 西宮市泌尿器科医会総会
- * 第14回臨床検討会
 - 10月28日 埼玉 パレスホテル大宮
- * 全国保険審査委員懇談会
 - 3月25日 東京、神奈川、埼玉、大阪保険審査委員検討会（東京）
 - 4月22日 第33回全国保険審査委員懇談会（京都）
- * 日本臨床分科医会
 - 2月 1日 第19回代表者会議
 - 8月23日 第20回代表者会議
- * 保険教育プログラム・保健委員会
 - 4月19日～21日 総会（京都）
 - 10月12日～15日 東部総会（東京）
 - 10月 4日～ 7日 中部総会（名古屋）
 - 11月 1日～ 4日 西日本総会（長崎）
- * 理事会
 - 2月12日 第1回理事会（大阪）
 - 4月22日 第2回理事会（京都）
 - 10月28日 第3回理事会（埼玉）
 - 8月25日 常任理事会（東京）
- * その他
 - 1月25日 「医学生・研修医をサポートするための会」（富山）
 - 2月11日～12日 ワークショップ

日本臨床泌尿器科医会

平成30年度決算書

自 平成30年 1月 1日

至 平成30年12月31日

(単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
会費収入	13,757,150	通信費	1,771,199
広告料収入	1,367,920	印刷費	3,021,033
銀行預金利息	58	会議費	1,790,563
		人件費	1,851,000
		交通費	3,523,029
		事業費	3,596,141
		事務用品費	199,549
		管理委託費	2,226,804
		事務委託費	1,182,350
		雑費(振込手数料)	173,444
収入合計	15,125,128	支出合計	19,335,112
平成30年度繰越金	7,873,612	—	—
収入総合計	22,998,740	次年度繰越金	3,663,628

財務委員長

以上、平成30年度の会計は相違なく、妥当と認めます。

平成31年 1月31日

監事

平成31年 2月2日

監事

日本臨床泌尿器科医会 平成31年度事業計画案

*** 会報発行**

2月 会報第55号発行
8月 会報第56号発行

*** 総 会**

4月21日 第22回日本臨床泌尿器科医会総会(名古屋)
日本臨床泌尿器科医会総会特別講演会(名古屋)
8月頃 第108回日本泌尿器科学会総会 教授表敬訪問(神戸)

*** 会長講演**

3月14日 西宮市泌尿器科医会総会

*** 第15回臨床検討会**

11月23日 大分 オアシスタワーホテル

*** 全国保険審査委員懇談会**

3月31日 関西・首都圏保険審査委員審査検討会(東京)
4月21日 第33回全国保険審査委員懇談会(名古屋)

*** 日本臨床分科医会**

2月 第21回代表者会議
8月 第22回代表者会議

*** 保険教育プログラム・保健委員会**

4月18日～21日 総会(名古屋)
10月 3日～ 6日 東部総会(東京)
10月31日～11月3日 中部総会(大阪)
11月 7日～10日 西日本総会(島根)

*** 理事会**

2月17日 第1回理事会(大阪)
4月21日 第2回理事会(名古屋)
11月23日 第3回理事会(大分)
7月頃 常任理事会

*** その他**

1月31日 「医学生・研修医をサポートするための会」(大阪)
5月以降 日本泌尿器科学会懇話会(東京)

日本臨床泌尿器科医会

平成31年度予算案

自 平成31年 1月 1日

至 平成31年12月31日

(単位:円)

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
会 費 収 入	16,000,000円	通 信 費	1,000,000円
広 告 料 収 入	700,000円	印 刷 費	900,000円
銀 行 預 金 利 息	—	会 議 費	1,100,000円
		人 件 費	1,860,000円
		交 通 費	3,500,000円
		事 業 費	2,500,000円
		事 務 用 品 費	120,000円
		管 理 委 託 費	2,100,000円
		事 務 委 託 費	750,000円
		雑費(振込手数料)	170,000円
収 入 合 計	16,700,000円	支 出 合 計	14,000,000円
平成30年度繰越金	3,663,628円	—	—
収 入 総 合 計	20,363,628円	次 年 度 繰 越 金	6,363,628円

◇ 事務局より ◇

- * 会報第56号をお届けいたします。
- ※ 平成31年度年会費及び過年度年会費未納の会員は、至急お振込下さい。
年会費 開業医・開設者 20,000円
勤務医・その他 3,000円
- ※ ホームページよりログインして、ご自身のマイページをご確認下さい。
- ※ 入会ご希望の方は、ホームページより入会申し込み書をダウンロードしてご利用下さい。
- ※ 転勤・転居・住所表記等の登録事項の変更等がございましたら、事務局まで変更届をFAXもしくはE-mailでお知らせ下さい。変更届は、会報やホームページよりダウンロードしてご利用下さい。
- ※ 個人情報の漏洩には、細心の注意を払いデータ管理をしております。

発行日／令和元年10月7日

発行／日本臨床泌尿器科医会

〒662-0832

兵庫県西宮市甲風園1丁目10-11

秋山泌尿器科内

TEL:0798-65-0854 FAX:0798-65-0863

E-mail: akiyamahinyoukika@cosmos.ocn.ne.jp

発行責任者／宮崎 良春

製作／株式会社プランニング フォレスト

大森 啓次